

## オルビス、環境保全活動を評価され国際NGOオイスカより特別功労賞を受賞 ～10月7日(金)開催の「オイスカ創立50周年記念式典」にて表彰～

ポーラ・オルビスグループのオルビス株式会社(本社:東京都品川区、社長:高谷成夫)は、長年の環境保全活動が評価され、このたび創立50周年を迎えたオイスカ・インターナショナル(The Organization for Industrial, Spiritual and Cultural Advancement-International)より特別功労賞を受賞することが決まりました。

オイスカ・インターナショナルが10月7日(金)に主催する「オイスカ創立50周年記念行事」の場で表彰式が執り行われ、オルビスからは代表取締役社長の高谷成夫が出席予定です。

オイスカ・インターナショナルは、「すべての人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、地球上のあらゆる生命の基盤を守り育てようとする世界」を目指して1961年に結成された国際NGO(非営利組織)です。日本に本部を置き、現在29の国と地域に組織を持っており、アジアの開発途上国の農業技術指導や植林計画など国際的な支援活動を行っています。また1985年の国際青年年(IYY)の制定を国連に働きかけ、その実現に大きく貢献するなど、その活躍が認められ1993年にはウォルマートやCNN、スウォッチ、コカコーラといった社会貢献活動に熱心な企業と並び、NGOとしては唯一「国連地球サミット賞(\*1)」を受賞しました。

オルビスは、創業時より“地球に生かされている私たち”の考えを元に、簡易包装や詰め替え用商品販売を行うなど積極的に環境負荷低減に取り組んできました。2000年には社内横断組織として環境委員会を立ち上げ、2002年から国内外で植林活動を開始しましたが、そのコーディネートをおイスカ・インターナショナルの推進機関である公益財団法人オイスカに依頼したのが両者のパートナーシップの始まりでした。

以降、現在まで途切れることなく、山梨県甲府市および富士山麓において毎年春と夏に社内ボランティアにより植林活動および下草刈りを実施し、海外ではフィジー共和国での「子供の森」計画(\*2)に支援するなど、長年に渡る継続的な環境保全活動の継続的貢献が評価され、今回の特別功労賞の受賞に至りました。

オルビスとオイスカは来年から新たに、山梨県甲州市において「甲州市オルビスの森」プロジェクトを立ち上げ、里山保全活動に取り組みます。今後も引き続き、少しでも企業活動における地球環境への負荷を低減し、植林活動や里山保全活動を通じて地球環境に還元できるよう努めてまいります。



- \*1) 国連地球サミット賞 : ビジョン、人間性、誠実性をもって持続ある開発の基本を支援する活動を実践し、そのリーダーシップが他の人々をこの道へと導くような刺激を与えた企業、政府や個人を顕彰しようと創設され、その第1回授賞式が1993年6月30日、ニューヨーク国連本部(信託統治理事会会議場)で行われました。
- \*2) 「子供の森」計画 : 子どもたち自身が、学校の敷地や隣接地で苗木を植えて育てていく実践活動を通じて「自然を愛する心」「緑を大切にする気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていこうというプログラム。2011年3月末現在、27の国・地域の4,410の学校が参加するまでにその輪が広がっています。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

(株) ポーラ・オルビスホールディングス 広報・IR室

〒104-0061 東京都中央区銀座1-7-7 Tel 03-3563-5540 / Fax 03-3563-5543

## 参考資料

### 【オイスカ創立50周年記念式典について】

日時：平成23年10月7日(金) 14時00分～18時00分

場所：ホテルニューオータニ（東京都千代田区紀尾井町4-1 Tel:03-3265-1111）

● 第一部：記念式典(鳳凰の間)

- ・50年の活動の歩み
- ・功労者の表彰等

<特別功労賞>

- ① 開発団受賞者(3名)
- ② 海外関係受賞者(5名)
- ③ 個人受賞者(6名)
- ④ 企業/団体受賞者(12法人)

● 第二部：レセプション(鶴の間)

\*天皇皇后両陛下のご臨席を予定

### 【オルビスの植林活動について】

1) 山梨県甲府市「武田の杜」環境保全活動[2002年4月～2007年8月]

市民の憩いの場となっている「武田の杜」が虫害によりダメージを受け、整備事業の一環として5回の植林を実施。現在も夏に下草刈りなどのメンテナンスをボランティアで実施しており、四季折々の植物を楽しむ憩いの森となっています。

\*植林本数:6,990本(約3ヘクタール)

\*「行政」「NGO」「企業」が三位一体となった環境保全活動のパイオニアとしての功績を称えられ、2006年に山梨県知事より感謝状をいただきました。

2) 「富士山の森づくり」プロジェクト[2007年5月～2011年5月]

\*植林本数:約5,000本(約5ヘクタール)

3) フィジー諸島共和国「子供の森計画」への支援及びマングローブの植林活動(2002年10月～現在)

「子供の森計画」とは、子どもたち自身が、学校の敷地や隣接地で苗木を育てることで「自然を愛する心」「緑を大切に作る気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていこうとするプログラム。その他、コロゴ村沿岸でマングローブ植林も実施。

\*植林本数:73,530本(58.2ヘクタール)

### 【「甲州市オルビスの森」プロジェクトについて】

1) ポーラ・オルビスグループのオルビス株式会社(本社:東京都品川区、社長:高谷 成夫)は、2012年度よりCSR活動の一環として、山梨県甲州市の市有林約100ヘクタールを「甲州市オルビスの森」と名付け、今後10年間、オルビスの社員らが森林整備を行うこととなっています。具体的には植栽や間伐などを従業員がボランティアとして行い、同地を地域の方々を含めた様々な交流の場として活用します。また、本活動を通じて、従業員の自発的な社会貢献活動を応援するとともに、更なる社内コミュニケーションの活性化を実現します。本プロジェクトは公益財団法人オイスカの仲介により、今年1月に甲州市(市長・田辺篤)と、当社(社長・高谷成夫)らが協定書に署名し発足しました。